

# 歴史博物館 ☎〈77〉6655

● 休館日 ●  
毎週月曜日  
5月1日(火)・8日(火)  
(4月30日(月)は開館)

## ◆ 5月の催しもの ◆

### 浮世絵摺り実演

5月3日(木)・4日(金)・19日(土)・20日(日)  
午前10時～午後4時(19日のみ午後1時から)

エントランスホール

実演 梶川工房

現代の浮世絵摺師が広重の有名な保永堂版「東海道五拾三次之内」から「岡崎」「池鯉鮒」の摺りを実演します。

また、3・4日は、はがきを使った簡単な摺りの体験ができます。

### 体験講座『鑑の試着会』

5月5日(土)午前10時～午後3時30分

エントランスホール

(詳細は本紙24ページ)

### 土曜講座『描かれた万歳から』

5月12日(土)午後2時

講座室

講師 平岩里張(本館学芸員)

### 企画展講演会『浮世絵風景版画の魅力』

5月13日(日)午後2時

講座室

講師 神谷浩氏(名古屋市美術館学芸係長・国際浮世絵学会理事)

### 映画会 時代劇片岡千恵蔵特集②

「血槍富士」(1955年作品)

5月27日(日)午前10時・午後2時

視聴覚室

## 企画展

# 旅のおこがね 浮世絵—東海道

—名古屋テレビ浮世絵コレクションより—

東海道を舞台に描かれた様々な浮世絵を描かれたテーマ別に紹介しています。

5月27日(日)まで開催

観覧料▶大人300円 小人150円



茶屋の店先に腰をおろして、名物とろろ汁をすする2人の旅人。歌川広重の行書版「東海道五十三次之内 鞠子(丸子)」です。当時の旅においても、道中各地の名所や名物に触れることは、大きな楽しみのひとつだったようです。鞠子のとろろ汁は、麦飯に山芋をすりおろしたものと青海苔をかけたもので、大変有名でした。



葛飾北斎の「東海道五十三次 石部」です。石部宿名物は菜飯田楽。北斎が描いたものはあくまでも人物が中心で、風景は描かれていても背景にすぎません。それだけに大口をあけて田楽を食べる旅人の様子などが実に生き生きと、しかもユニークに描かれています。